

令和2年3月15日

令和2年度 特別の教育課程の実施状況等について

都・道・府・ <b>県</b>		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
三木市立別所小学校	三木市教育委員会	国・ <b>公</b> ・私

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第1・2学年の「生活科」6時間を削減して、「外国語活動」に充てる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

三木市においては、次代を担う子どもたちに、ふるさとの歴史や文化、とりわけ伝統産業である三木金物の素晴らしさを伝え、我がまち三木市を愛する豊かな心を育むとともに、ものづくりを通じて自ら考え、生きる力を育成してきた。これまで取り組んできた「ふるさと教育」や「心の教育」を基盤として、今後のグローバル化に対応できる子どもたちを育むため、小学校低学年から「聞く」「話す」体験を中心とした「外国語活動」に取り組む。

(3) 特別の教育課程に基づく教育の実施状況

ア 実施体制

・1・2年生の担任とALTがT・Tを組んで指導した。主指導は各学級担任が行い、ネイティブな発音を児童に体感させる場面ではALTが行うなどして、児童が楽しみながら英語に慣れ親しむことができるように工夫した。

イ 指導計画及び授業の内容

・各学期に2時間ずつ、計6時間を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防に配慮したため、1学期の活動を中止し、2・3学期に6時間行うようにした。  
・1年生では、歌やゲームを交えながら「あいさつ」「自己紹介」「10までの数」「色」「自分の体」「動物」「動き」についての英語に慣れ親しめるようにした。  
・2年生では、1年生での活動をベースにしなが、新しく他国の行事（ハロウィン・クリスマス）についてALTから話を聞いたり、「20までの数」「果物」「形」「年齢」が正しい発音で唱えられるようにしたりした。

(4) 情報提供の状況

・HPで各学年の外国語活動の様子を公開した。  
・学級通信で授業の様子を伝えた。学習のねらい、活動状況がわかる写真掲載、授業後の児童の感想などを掲載し、保護者に外国語活動について理解を深めた。

(5) 特例の適用開始日及び、取組の期間

- ・ 特例の適用開始日 : 平成 28 年 4 月 1 日
- ・ 変更した特例の適用開始日 : 令和 2 年 4 月 1 日
- ・ 取組の終期 : 今後も継続した取組を予定

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係  
(学校経営の重点や学校関係者評価等を参考に記入ください。)

- ・ 他国の言葉や文化に触れることで、児童が物事を多面的にとらえようとする姿が見られた。また、自他ともに認め合う風土が流れ、本校がめざす「心豊かな児童」の育成につながった。

(2) 実施の効果

- ・ 本校に在籍している外国人児童への理解が高まった。
- ・ 言葉や習慣が違って、物おじすることなく積極的に交流して相手を理解しようとする姿勢が身についてきた。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・ 教師自身が ALT と積極的に交流し、児童が楽しみながら異文化に触れる体験活動を一緒に作り出す。